

第1章

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」 (小学校)

I 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校)の概要

1 調査実施の趣旨

東京都教育委員会では、平成16年度から、国語、社会、算数、理科の教科の目標や内容の実現状況を把握し、それを指導方法の充実・改善に結び付けることを目的に、教科別・観点別の学力定着状況調査を3年間実施した。平成18年度から平成20年度にかけては、「問題解決能力等」の調査を実施し、平成19年度から平成22年度にかけては、「基礎的・基本的な事項に関する調査」を実施した。

これまでの調査の結果から、東京都における児童の学力の定着状況については、概ね良好であるが、「長い文章を読んで内容を把握することや情報を整理して判断すること」については、課題があることが明らかになった。この課題を踏まえ、平成22年度には、「文章や図表、グラフなどから必要な情報を正確に読み取り、解釈しながら問題を解決する」過程において、児童がどの段階でどのような学習のつまずきがあるのかを明らかにするために、「読み解く力に関する調査」を実施した。平成23年度からは、小学校学習指導要領が全面実施されたことを踏まえ、学習指導要領に示された目標や内容の実現状況と「読み解く力」の定着状況を把握するために、国語、社会、算数、理科の各教科について調査を実施している。

2 調査問題作成の基本方針

- (1) 調査問題を、よりよい授業展開の在り方を提案する「授業提案型」および児童の学習のつまずきが、どこでどのように見られたのか分析できる「課題分析型」の2種類とする。
- (2) 学習指導要領に示された目標や内容の実現状況を、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの評価の観点から調査する。
- (3) 「読み解く力」の定着状況を、「必要な情報を正確に取り出す力」、「比較・関連付けて読み取る力」、「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の3つの観点から調査する。

3 調査項目

教科	調査項目
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと・聞くこと（「聞くこと」については、音声を聞いて答える問題） ・漢字の読み（「学年別漢字配当表」第4学年までのもの） ・漢字の書き（「学年別漢字配当表」第3学年までのもの） ・言葉に関する知識 ・文学的な文章の読み ・説明的な文章の読み ・書くこと 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域や区市町村の様子 ・地域の販売に携わっている人々の働き ・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための活動 ・地域の人々の安全を守る活動 ・都道府県の位置 ・東京都の様子 ・地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数の計算（小数×小数を含む） ・数の相対的な大きさ ・面積 ・四角形の特徴 ・立方体、直方体 ・□などを用いた式 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
理科	[小学校第5学年6月までに学習する次の内容] <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫と植物 ・季節と生物 ・植物の発芽 ・人の体のつくりと運動 ・物と重さ ・太陽と地面の様子 ・天気の様子 ・磁石の性質 ・金属、水、空気と温度 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力

※持ち物として、定規を用意する。

※各教科とも小学校第4学年までに学習した内容を含む。

Ⅱ 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校)の結果について

1 調査結果の概要

教科	《教科の観点ごとの正答率》					《教科の読み解く力ごとの正答率》						
	内容	都全体	平均正答率グラフ(%)			差	評価の観点	都全体	平均正答率グラフ(%)			差
		青梅市	0	50	100			青梅市	0	50	100	
国語	国語への関心・意欲・態度	93.2 %	東京都			-4.2	必要な情報を正確に取り出す力	71.8 %				-8.2
		89.0 %	青梅市					63.6 %				
	話す・聞く能力	71.0 %				-7.2	比較・関連付けて読み取る力	63.7 %				-9.1
		63.8 %						54.6 %				
	書く能力	72.4 %				-6.6	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	66.5 %				-8.5
		65.8 %						58.0 %				
	言語についての知識・理解・技能	59.4 %				-13.0	B 読み解く力に関する内容	67.3 %				-8.6
		46.4 %						58.7 %				
	読む能力	64.8 %				-10.5	教科の合計(A+B)	67.8 %				-9.6
		54.3 %						58.2 %				
A 教科の内容	67.9 %				-9.8							
	58.1 %											
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	88.1 %				-4.0	必要な情報を正確に取り出す力	74.8 %				-9.5
		84.1 %						65.3 %				
	社会的な思考・判断・表現	75.2 %				-7.3	比較・関連付けて読み取る力	51.6 %				-11.4
		67.9 %						40.2 %				
	観察・資料活用 の技能	77.7 %				-7.9	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	51.4 %				-8.8
		69.8 %						42.6 %				
	社会的事象についての知識・理解	64.7 %				-9.8	B 読み解く力に関する内容	61.5 %				-9.9
		54.9 %						51.6 %				
	A 教科の内容	75.3 %				-7.8	教科の合計(A+B)	71.1 %				-8.4
		67.5 %										
算数	算数への関心・意欲・態度	90.7 %				-2.3	必要な情報を正確に取り出す力	73.8 %				-8.2
		88.4 %						65.6 %				
	数学的な考え方	52.8 %				-11.5	比較・関連付けて読み取る力	61.6 %				-11.1
		41.3 %						50.5 %				
	数量や図形についての技能	65.4 %				-10.9	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	7.8 %				-3.9
		54.5 %						3.9 %				
	数量や図形についての知識・理解	67.3 %				-8.3	B 読み解く力に関する内容	47.7 %				-7.7
		59.0 %						40.0 %				
A 教科の内容	64.5 %				-9.6	教科の合計(A+B)	61.4 %				-9.3	
	54.9 %											
理科	自然事象への関心・意欲・態度	91.9 %				-1.6	必要な情報を正確に取り出す力	82.5 %				-7.0
		90.3 %						75.5 %				
	科学的な思考・表現	65.8 %				-7.7	比較・関連付けて読み取る力	76.9 %				-10.1
		58.1 %						66.8 %				
	観察・実験の技能	62.6 %				-6.4	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	74.7 %				-7.0
		56.2 %						67.7 %				
	自然事象についての知識・理解	65.8 %				-6.7	B 読み解く力に関する内容	78.0 %				-8.0
		59.1 %						70.0 %				
A 教科の内容	68.8 %				-6.2	教科の合計(A+B)	71.6 %				-6.8	
	62.6 %											

2 各教科の問題ごとの正答率一覧

(1) 国語（小学校第5学年対象）

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点					正答率 (都全体 青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④	⑤				
				0			50					
1(1)	1	3・4年 A話聞き	話し合いの内容を的確に捉えることができる。		○				80.9 %		-3.0	○
1(2)	2		話を聞くときに、相手が伝えたいと思っている大事なことを捉えることができる。		○				77.9 %		-6.3	
1(3)	3	3・4年 A話聞き	目的に応じて、話し合いを適切に進行することができる。		○				69.9 %		-12.0	●
1(4)	4		司会の役割について理解し、気を付けることが身に付いている。	○					96.2 %		-2.4	●
2(1)	5	3・4年 伝(1)ウ(イ)	第4学年までに配当されている漢字を文脈に即して正しく読むことができる。					○	80.3 %		-12.2	○
2(2)	6							○	68.1 %		-16.3	○
3(1)	7		第3学年までに配当されている漢字を正しく書くことができる。					○	69.0 %			
3(2)	8							○	52.7 %		-5.0	○
4(1)	9	3・4年 C読み	資料Aの文章から、虫がなく気温の条件や、虫の泣き方についての情報を正確に読み取ることができる。	取り出す力					71.8 %		-8.2	○
4(2)	10		資料Aと資料Bの二つの資料の内容を比較・関連付けて読み取ることができる。	読み取る力					63.6 %		-9.1	●
4(3)	11	3・4年 C読み	資料Aと資料Bの筆者の考えを理解・解釈して、ゆうきくんが目的に応じてまとめた文章を考えることができる。	解決する力					63.7 %		-8.5	
5(1)	12		3・4年 C読み	叙述をもとに場面の様子を正確に読み取ることができる。					○	66.5 %		-8.5
5(2)	13	叙述をもとに「加奈子」の気持ちを正確に読み取ることができる。						○	58.0 %		-13.6	○
5(3)	14	叙述をもとに「加奈子」が叱られた気がしなかった理由を読み取ることができる。						○	65.2 %		-9.0	●
6(1)	15	3・4年 B書ウ	相手や目的に応じて書きたいことが伝わるように書くことができる。			○			60.6 %		-9.0	
6(2)	16		3・4年 B書オ	文末表現の使い方に注意して文書を読み返し、よりよい表現に書き直すことができる。			○			51.6 %		-9.0
6(3)	17	3・4年 B書イ	体験の記録を見直す時に気を付けることが身に付いている。	○					68.7 %		-5.4	●
7	18		3・4年 伝(1)イ(キ)	文の中における主語と述語の関係について理解できている。					○	59.7 %		-7.9
8(1)	19	修飾と被修飾との関係(連続する文節にある場合)について理解できている。						○	75.3 %		-6.0	●
8(2)	20	修飾と被修飾との関係(離れた文節にある場合)について理解できている。						○	69.9 %		-22.7	●
							○	77.9 %		-10.9	●	
						○	25.0 %		-8.4	●		
						○	16.6 %					

評価の観点 ①国語への関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力
⑤言語についての知識・理解・技能

(分類) ○ 教科書レベルの問題 ● 教科書練習レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数

(2) 社会 (小学校第5学年対象)

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④				
				0		50	100				
1(1)	1	3・4年 (1)ア	地図をもとに、身近な地域の様子を、四方位から読み取ることができる。			○		66.5 % 55.1 %		-11.4	○
1(2)	2		地図をもとに、市役所の位置を八方位から読み取ることができる。			○		60.0 % 48.8 %		-11.2	○
1(3)	3		縮尺から2地点間の距離を読み取ることができる。			○		82.7 % 76.1 %		-6.6	●
2(1)	4	3・4年 (4)アイ	D地域の交通事故の発生件数の変化から調べてみたい課題を見付け、調べようとしている。	○				88.3 % 83.1 %		-5.2	●
2(2)	5		交通事故発生時の、発信指令センターにおける対処の様子を読み取ることができる。			○		71.7 % 62.7 %		-9.0	○
2(3)	6		交通事故発生時の、警察官の仕事の目的を捉えることができる。		○			73.1 % 63.4 %		-9.7	○
3(1)	7	3・4年 (6)アイ	自分たちが通う小学校がある区市町村の位置を理解している。			○		58.0 % 54.8 %		-3.2	○
3(2)	8		東京都の主な都市、交通、特色ある地域の位置について理解している。			○		80.0 % 71.2 %		-8.8	○
3(3)	9		東京都の地理的位置について理解している。			○		60.9 % 48.5 %		-12.4	○
3(4)	10		47都道府県の名称と位置を理解している。			○		59.8 % 45.0 %		-14.8	○
4(1)	11	3・4年 (2)アイ	スーパーマーケットの店内図から、店内の様子について読み取ることができる。			○		93.3 % 90.9 %		-2.4	○
4(2)	12		スーパーマーケットを見学して見つけた工夫も目的を捉えることができる。		○			86.4 % 81.4 %		-5.0	●
4(3)	13		学習を振り返ったことをもとに、これから取り組んでいきたいことを考えようとしている。	○				88.0 % 85.2 %		-2.8	●
5(1)	14	3・4年 (5)イ	調べ学習に必要な資料を何かを読み取ることができる。			○		86.2 % 80.7 %		-5.5	●
5(2)	15		実行委員長の話から、年中行事がどのように行われてきたかを読み取ることができる。			○		83.8 % 74.5 %		-9.3	●
5(3)	16		年中行事を受けついできた人の話から、その願いや思いについて考えることができる。		○			66.2 % 58.8 %		-7.4	●
6(1)	17	3・4年 (6)ウエ	施設Gを訪れる前に行った場所、またはこれから行く場所についての情報を、正確に取り出すことができる。	取り出す力				80.9 % 75.0 %		-5.9	●
6(2)	18		資料から取り出した情報を関連付け、市の課題を読み取ることができる。	読み取る力				45.0 % 35.1 %		-9.9	
6(3)	19		市の課題に対する解決策について、推論することができる。	解決する力				46.8 % 41.5 %		-5.3	
7(1)	20	3・4年 (3)アイ	M川のBOD量の変化についての情報を正確に取り出すことができる。	取り出す力				76.3 % 65.9 %		-10.4	●
7(2)	21		水再生センターの働きについて情報を正確に取り出すことができる。	取り出す力				67.3 % 54.9 %		-12.4	●
7(3)	22		資料から読み取ることができた情報を比較・関連付け、仕事の内容を読み取ることができる。	読み取る力				58.3 % 45.2 %		-13.1	
7(4)	23		M川水をきれいに保つために、自分たちが協力できることについて推論することができる。	解決する力				56.1 % 43.7 %		-12.4	

評価の観点 ①社会的事象への関心・意欲・態度 ②社会的な思考・判断・表現 ③観察・資料活用の技能
④社会的事象についての知識・理解

(分類) ○ 教科書例題レベルの問題 ● 教科書練習問題レベルの問題

※到達目標値は、○と●の合計数

(3) 算数 (小学校第5学年対象)

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)			差	分類
				①	②	③	④		0	50	100		
1(1)	1	4年D(2)ア	四則の混合した計算ができる。			○		67.7 %				-5.3	○
								62.4 %					
1(2)	2	4年A(5)イ	小数-小数の計算ができる。			○		57.3 %				-6.0	○
								51.3 %					
1(3)	3	4年A(5)ウ	小数÷整数の計算ができる。			○		64.6 %				-9.7	○
								54.9 %					
1(4)	4	4年A(6)イ	帯分数-真分数(同分母)の計算ができる。			○		64.0 %				-15.4	○
								48.6 %					
1(5)	5	5年A(3)イ	小数×小数の計算ができる。			○		63.7 %				-13.7	○
								50.0 %					
2(1)	6	5年A(3)イ	積や商の大きさを理解している。			○		37.8 %				-11.3	●
								26.5 %					
2(2)	7	4年A(3)ウ	わり算で余りが小数となる場合の計算ができる。			○		45.1 %				-11.6	●
								33.5 %					
3(1)	8	4年A(1)ア	数の相対的なみ(単位のいくつ分)ことができる。			○		61.3 %				-7.8	○
			数の相対的なみ(単位ごとの数の和)ことができる。			○		53.5 %					
3(2)	9		十進法位取り記数法の理解から、指定された大きさの数を考えることができる。			○		63.2 %				-8.4	○
								54.8 %					
3(3)	10			○				19.0 %				-8.0	
								11.0 %					
4(1)	11	4年A(5)ウ	基準量、比較量、割合の関係を図に表すことができる。			○		64.3 %				-8.2	●
			量の関係を、基準量×割合=比較量の式に表すことができる。			○		56.1 %					
4(2)	12					○		63.8 %				-13.5	○
								50.3 %					
4(3)	13	4年A(5)ウ	比較量と基準量から割合を求めることができる。			○		70.7 %				-12.1	○
								58.6 %					
5(1)	14	2年B(1)ア	cmとmの関係を理解している。			○		84.6 %				-5.4	○
								79.2 %					
5(2)	15	3年A(5)ア	gとkgとの関係を理解している。			○		55.2 %				-14.6	●
								40.6 %					
5(3)	16	2年B(2)ア	任意の量いくつか分かで単位をつくり、単位がいくつか分かを考えることができる。			○		58.8 %				-11.1	
								47.7 %					
5(4)	17	3年B	ものの量について学習したことを活用しようとしている。	○				89.1 %				-2.0	●
								87.1 %					
6(1)	18	4年B(2)イ	分度器を使って角度を測ることができる。			○		92.5 %				-5.8	○
								86.7 %					
6(2)	19	4年B(2)ア	直角や半回転の角度を理解している。			○		88.0 %				-5.9	●
								82.1 %					
6(3)	20	4年B(2)イ	180° より大きい角度の求め方を考えることができる。			○		67.6 %				-9.1	●
								58.5 %					
6(4)	21	4年B(2)	自ら課題を解決し、対話を通して学び合おうとしている。	○				92.3 %				-2.7	●
								89.6 %					
7(1)	22	4年C(3)	平面上の位置が、二つの長さの組みで表せることを理解している。			○		72.5 %				-9.5	○
			空間の位置が、三つの長さの組で表せることを理解している。			○		63.0 %					
7(2)	23					○		75.6 %				-3.1	●
								72.5 %					
8(1)	24	4年D(2)ウ	二つの数量関係を表す式から、関係を式に表すことができる。			○		62.8 %				-18.6	●
								44.2 %					
8(2)①	25			場面から、伴って変わる二つの数量の関係を考えることができる。			○		57.1 %			-12.8	
							○		44.3 %				
8(2)②	26					○		39.0 %			-18.0		
								21.0 %					
9(1)	27	4年D(2)ウ	基石の並べ方から情報を正しく取り出すことができる。				取り出す力	81.6 %				-6.8	○
				並べる回数と基石の数について関連付けながら表にまとめ、関係について読み取ることができる。				読み取る力	74.8 %				
9(2)	28			並べる回数と基石について読み取ったことをもとに、問題を解決することができる。				解決する力	81.6 %			-6.9	●
								74.7 %					
9(3)	29							4.4 %				-1.1	
								3.3 %					
10(1)	30	4年D(4)ア	場面から正しく情報を取り出すことができる。				取り出す力	66.0 %				-9.5	○
				おかしと飲み物を選んだ人数について表にまとめ、関係について読み取ることができる。				読み取る力	56.5 %				
10(2)	31			おかしと飲み物を選んだ人数について読み取ったことをもとに、問題を解決することができる。				解決する力	41.6 %			-15.2	●
								26.4 %					
10(3)	32							11.2 %				-6.7	
								4.5 %					

評価の観点 ①算数への関心・意欲・態度 ②数学的な考え方 ③数量や図形についての技能 ④数量や図形についての知識・理解

(分類) ○ 教科書例題レベルの問題 ● 教科書練習問題レベルの問題 ※到達目標値は、○と●の合計数

(4) 理科 (小学校第5学年対象)

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)			差	分類
				①	②	③	④		0	50	100		
1	1	3年B(1)ア	昆虫の体のつくりの特徴について理解する。				○	78.9 % 68.9 %		-10.0	○		
2	2	4年B(2)イ	温度計の適切な使い方を理解している。			○		71.6 % 65.0 %		-6.6	○		
3	3	4年A(2)イ	安全に実験を行うための方法や加熱機器の取り扱い方を理解している。			○		59.2 % 49.9 %		-9.3	○		
4(1)	4	3年A(5)アイ	乾電池の数やつなぎ方を変えると、モーターの回る速さや向きが変わることを理解している。				○	58.1 % 48.1 %		-10			
4(2)	5	4年A(3)ア	電気を通す物は金属であることを理解している。				○	21.0 % 21.6 %		0.6	○		
5(1)	6	4年A(2)イウ	予想が正しかった場合に得られる実験の結果について考えることができる。		○			60.8 % 62.9 %		2.1	●		
5(2)	7		水が100℃近くになり、水の中から盛んに泡がでてくる現象の名称を理解している。				○	82.0 % 72.1 %		-9.9	●		
6	8	4年A(2)ウ	水の性質と生活への活用場面とを関連付けて考えることができる。		○			70.0 % 57.5 %		-12.5	●		
7(1)	9	3年B(3)ア	方位磁針適切な使い方を理解している。			○		57.0 % 53.6 %		-3.4	○		
7(2)	10		方位を調べる道具の名称を理解している。				○	89.1 % 84.6 %		-4.5	○		
7(3)	11		太陽の動き方と影のでき方とを関係付けて考えることができる。		○			65.5 % 56.8 %		-8.7			
8	12	3年A(3)イ	実験を正確に行うための条件について考えることができる。		○			66.7 % 55.3 %		-11.4	●		
9(1)	13	3年A(2)イ	ゴムをねじる回数とプロペラカーが進んだ距離との関係を【実験1の結果】から読み取ることができる。	取り出す力				80.5 % 75.5 %		-5.0	●		
9(2)	14		【実験1の結果】と【実験2の結果】とを比較・関連付けて、ゴムが物を動かす働きについて理解し、適切な条件を考えることができる。	読み取る力				88.7 % 83.5 %		-5.2	●		
9(3)	15		ゴムをねじる回数とプロペラカーが進んだ距離との関係やゴムが物を動かす働きについて理解し、適切な条件を考えることができる。	解決する力				81.0 % 76.3 %		-4.7			
9(4)	16		ゴムの働きに興味・関心をもち、さらに調べたり、活用したりしようとしている。	○				94.8 % 94.9 %		0.1	●		
10(1)	17	5年B(2)ア	観察の結果から分かることについて、【資料1】から読み取ることができる。	取り出す力				84.4 % 75.5 %		-8.9	●		
10(2)	18		観察の結果と予想とを比較・関連付けて考えることができる。	読み取る力				65.1 % 50.1 %		-15.0	●		
10(3)	19		メダカが卵を産むための必要な条件を理解し、具体的な条件を考えることができる。	解決する力				68.4 % 59.0 %		-9.4			
10(4)	20		観察・実験の結果をもとに、自らの学習活動を振り返ったり、新たな課題を発見したりしようとしている。	○				89.0 % 85.6 %		-3.4	●		

評価の観点 ①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能
④自然事象についての知識・理解

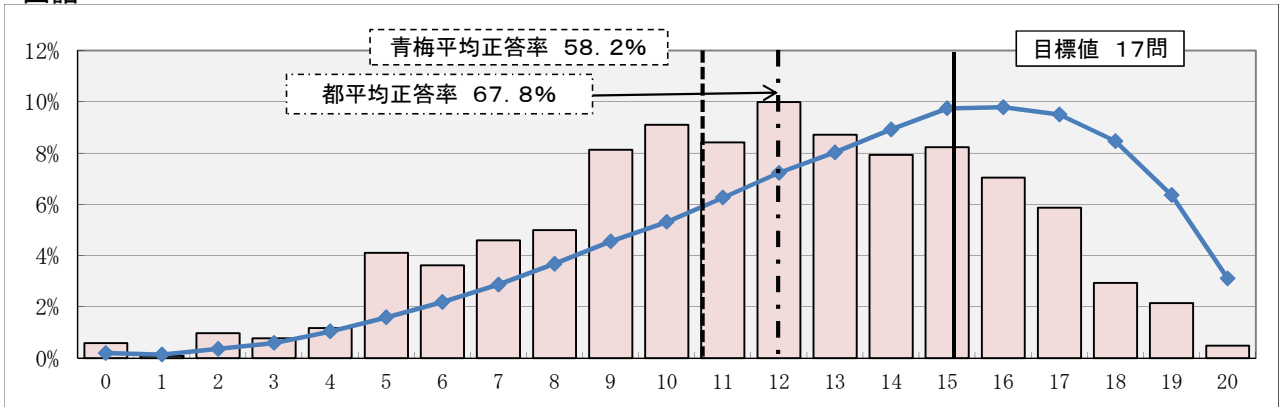
(分類) ○ 教科書例題レベルの問題 ● 教科書練習問題レベルの問題

※到達目標値は、○と●の合計数

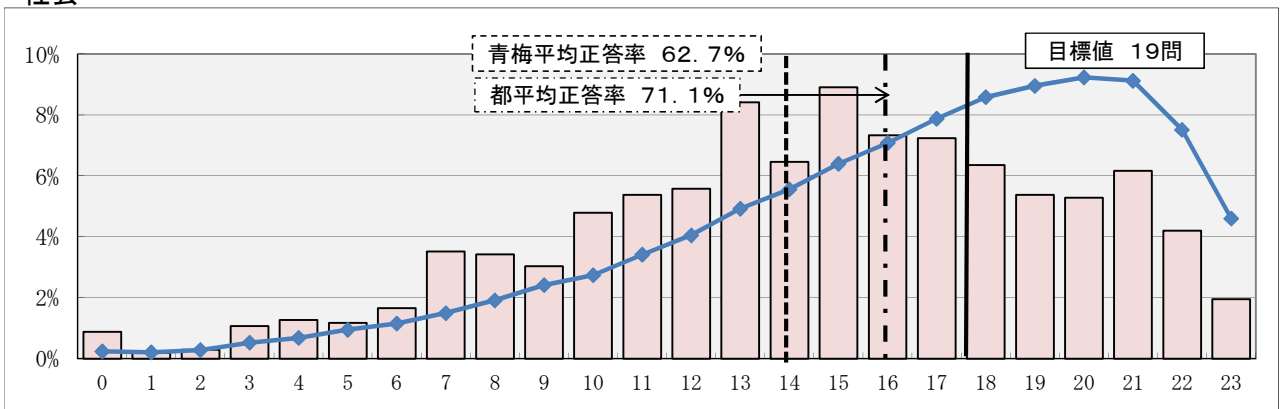
青梅市の合計正答数の人数分布 (小学校 第5学年)

* 棒グラフが青梅市、折れ線グラフが東京都を示す。(縦軸：児童の割合(%)、横軸：正答数(問))
 ※目標値とは、学習指導要領の内容について標準的に学習活動が行われたと想定した場合の、正答問数である。

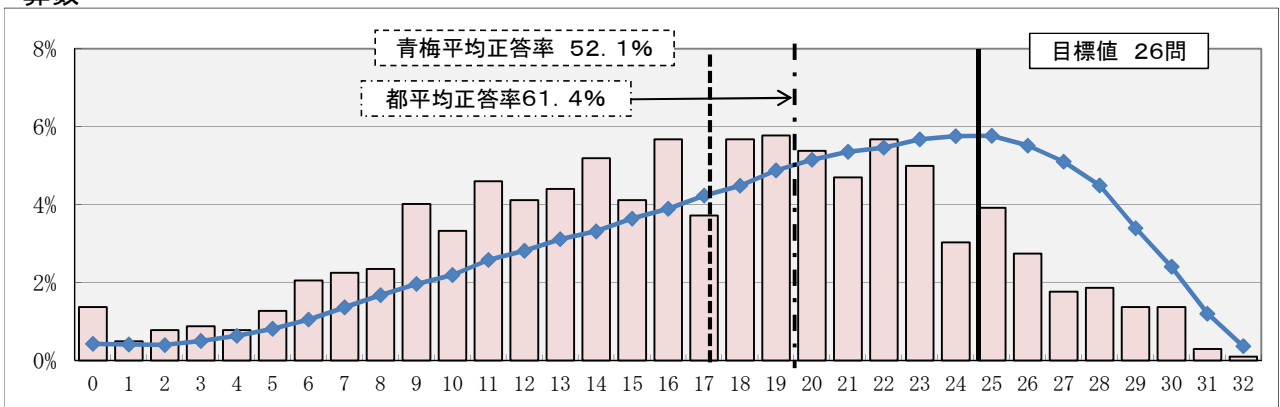
国語



社会



算数



理科

